

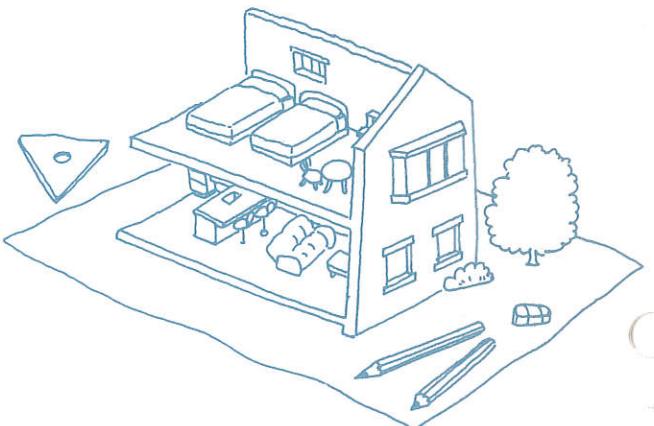
思い立ったら まず相談

今年度の相談所の日程

平成4年度の、建て替え相談所の日程が決まりました。5月から日程が変わり毎月第3土曜日の午後におこないます。場所も、これまでの2か所の開催を、雑司が谷区民会室のみの開催となります。

相談所では、建築士による建て替え相談と、街づくり公社による助成制度などの相談、2ヵ月に1回の弁護士による法律相談が行われます。また、必要に応じて、相談者の敷地に合わせたモデルプランの作成も行います。

建て替えを思い立ったら、まず、建て替え相談所でご相談ください。その際、敷地の形や面積、道路の幅員がわかれれば、さらに詳しく相談に応じることができます。



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	※ 4	16	20	18	15	19	17	21	19	16	20	13
	○		○		○		○		○		○	

場所：雑司が谷区民会室

時間：午後1時～4時まで受付

○印には、弁護士による法律相談も行います。

※街づくり公社発行の「みみずく」では、4月の相談日が18日となってますが、18日は、かきのき広場のオープニングセレモニーにあたるため、4日(土)に変更します。

雑司が谷

まちづくりニュース

33
92-5

さくらのかほりと共に

季節はすっかり春めいて、さくらの便りも聞かれます。

春のうきうきした気分をさらに盛り上げるように、雑司が谷児童館周辺の緑化工事は最後の仕上げにかかりています。資材置き場も児童館も春を迎えて生まれ変わろうとしています。

新しい児童館と児童遊園にどうぞお越しください。

●企画・発行

雑司が谷地区不燃化促進協議会

(財) 豊島区街づくり公社

☎3981-1111 内2885 担当／牛田・細田

豊島区都市整備部街づくり推進課

☎3981-1111 内2861

●編集協力

(財) 都市防災研究所

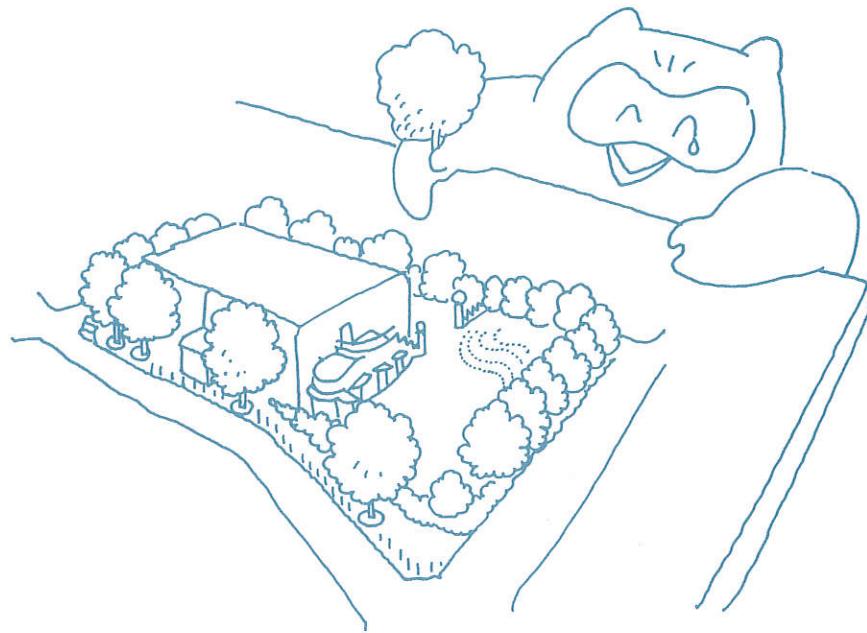
☎3595-1545

担当／小川、小野

再生紙を使用しています。

雑司が谷児童館周辺緑化

雑司が谷児童館 + 雜司が谷1丁目第二児童遊園



ご協力のもとに

昨年11月の着工から5ヵ月。ようやく、児童館周辺緑化が完成します。工事は、児童館の外壁塗り替え工事と避難階段設置工事、それに児童遊園の新設工事が行われました。児童館や集会室を使用したままの工事で、利用者の皆さんには大変なご迷惑をおかけしたことと思います。また、周辺の皆さんにも、工事の騒音や車両の通行でご迷惑をおかけしました。改めてお詫びすると共に、ご協力にお礼申し上げます。

3年前にまかれた種

児童館周辺緑化は、雑司が谷墓地周辺地区不燃化促進協議会が平成元年10月に行っ

た、「みどりのまちづくり推進事業」の提案に含まれていました。その後、区内部で検討が行われ、また、以前から要望のあった資材置き場の児童遊園化も盛り込み、より規模の大きい緑化工事としてスタートしました。

種を育てた緑化の会

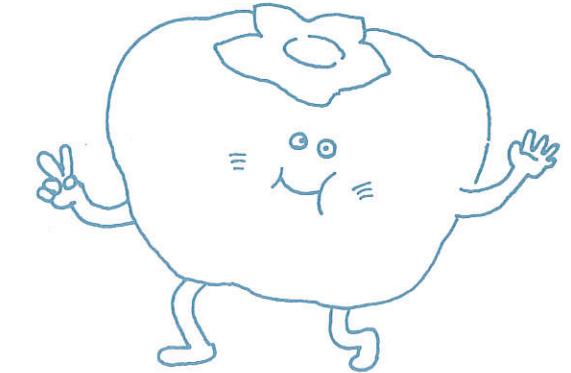
不燃化促進協議会によってまかれた種を、大切に守り育てたのが緑化の会です。

緑化の会は、地元住民と学童クラブ父母会、児童館、区で構成されていますが、まる2年にわたる協議をとおして、住民参加による計画づくりを行い完成にこぎつけました。

完成！

5つのテーマの実現

児童館周辺緑化では、計画にあたってめざした5つテーマがあります。それぞれのテーマごとに、児童館周辺緑化で実現したものまとめると次のようになります。



① 住民参加の計画づくり

緑化の会による計画づくり

- 児童、住民の参加（アイデア募集、愛称募集）
- 児童の工事への参加（絵タイル、タイル埋込み）

② 開かれた施設づくり

フェンスのない児童館

- 歩道の開放
- まちかど広場の整備
- 児童遊園との一体化

③ 歩行者優先の環境づくり

散歩道の整備

- インナーリングの部分整備

④ 地区緑化の拠点づくり

地域緑化の先例

⑤ 地域のメモリアルづくり

みみずく門

- 宣教師館をモチーフにした工作物
- 遊び場の原風景・はらっぱ
- 「かきのみ」の名称

愛称募集の結果発表

かきのみ 広場

愛称は庭の柿の木から

昨年、新しい広場の愛称をみなさん募集しましたが、その結果が決定しました。

新しい愛称は「かきのみ広場」です。この愛称は、高田小学校1年生の加藤枝理子さんの応募案です。児童館の庭に大きな柿の木があり、児童館のシンボルとして親しまれている所から選定されました。

愛称募集には、子供からお年寄りまで30名以上の方から応募があり、どの案もなかなかの傑作ぞろいで、審査にあたった緑化の会でも選定には苦労しました。最後ま

で残った案は鬼子母神の「みみずく」にちなんだものと、「かきのみ」にちなんだものでしたが、児童館の柿の木が、関東大震災前からの地域の歴史と共に生きてきた木であることと、学童クラブがかきのみクラブという名前であることから、「かきのみ広場」が選定されました。

児童遊園の正式名称は、「雑司が谷1丁目第二児童遊園」ですが、この「かきのみ広場」という名前を、児童館の広場と児童遊園の全体の愛称として、地元の方に親しくて頂きたいと思います。

柿の木の思い出

雑司が谷児童館の柿の木は、私が子供の時からありました。もう60年も前の事ですが、子供の目には相当な大木であったことを覚えています。

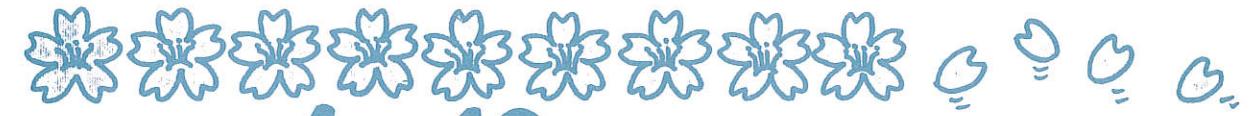
当時は、児童館の敷地は安井さんのお屋敷になっていて、よく入りこんでは遊んだものです。柿の木の下には井戸がありました。

雑司が谷児童館周辺緑化の会
会長 戸張政次郎

た。私は雑司が谷で関東大震災を経験しましたが、震災で混乱しているときに子供の仕事として井戸の番を任されて、一日中守っていました。今はその井戸もなく、お屋敷も児童館に変わりました、柿の木だけは当時のままで立っているような気がします。

祝児童館周辺整備完成記念

オープニングまつり



日時 4月18日(土)午後2時~4時

会場 雑司が谷児童館・かきのみ広場

[豊島区雑司が谷1-22-8:TEL3988-0388]



主催: 豊島区

=第一部=

- ・チアガールのパフォーマンス
- ・権兵衛太鼓 (出演:京浜協同劇場)

=第二部=

伝承遊びコーナー お店コーナー

こま・ベゴマ回し
竹馬・大縄飛び

わたがし・ジュース

風せん

花鉢のプレゼント

みなさん、きてくださいね!
自転車での来館は御遠慮ください。

建替えについてのアンケート

調査結果の発表

昨年、街づくり公社と街づくり推進課が実施した「建替えについての調査」の結果がまとまりました。調査ではお忙しいところをご協力いただき、ありがとうございました。改めてお礼申し上げます。

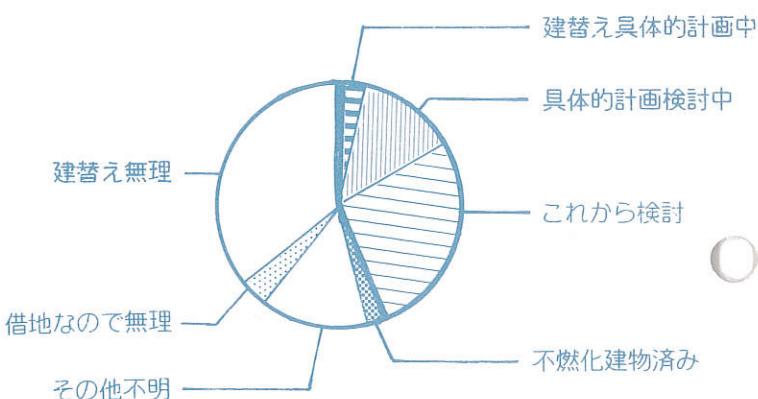
調査は、残す所あと2年となった不燃化促進事業での、今後の皆さんの建替えの予定を把握し、建替えにかかる問題点を把握するために行われました。

調査は、土地や建物の権利をもっている方で、現在、地区内の木造建物にお住まいの方を対象として行いました。調査票の配付数と回収数は次のとおりです。

配付数	508 件
回収数	315 件
回収率	62.0 %

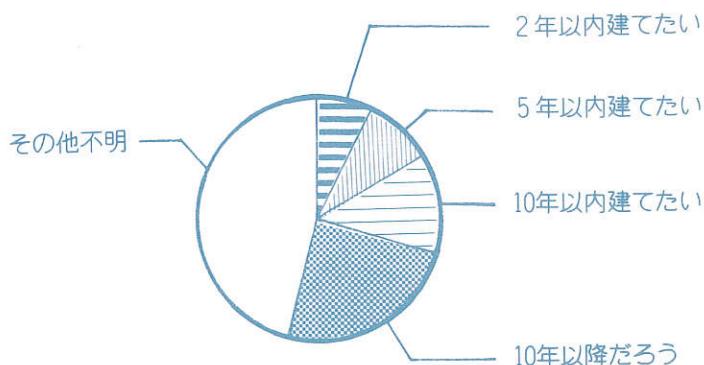
高い建替えの意向

建替えの希望についてお聞きした設問では、これから検討するという方も含めると43.2%の方が建替えの意向をもっています。一方で、35.9%の方が建替えは無理と回答されており、さまざまな問題点のあることが伺われます。



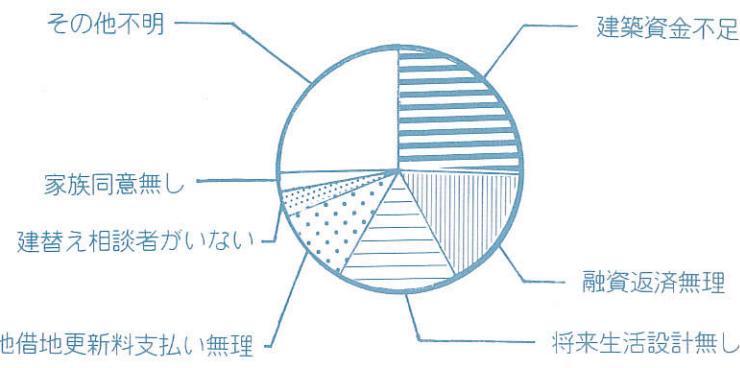
建替え予定はちょっとのんびり

建替えの予定について伺ってみると、不燃化促進事業の期間内（2年以内）に建替えを予定している方は少なく、8.3%にとどまっています。5年以内の方が9.2%。10年以内の方が12.7%となっており、全体としてはちょっとのんびりした建替え予定となっています。



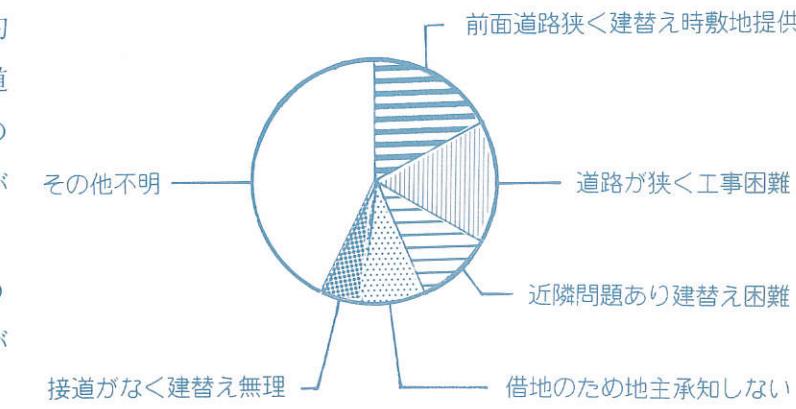
問題の一番は建築資金

建替えにかかる問題点のうち、対的な問題点としてあげられているのが建築資金です。第1位の建築資金不足（36.5%）、第2位の融資の返済ができない（23.5%）、第3位も将来の生活設計が立たない（22.9%）と、上位を独占した形になっています。



対外的問題点は道路

建替えにかかる問題点のうち、対外的な問題点として最もあげられているのが道路です。4m未満の道路（狭い道路）の関係が21.3%、道路が狭く工事できないが19.4%と1位2位を占めています。また、接道していないため建替えできないという方もいらっしゃり、道路の未整備な状況が浮き彫りになっています。



低い共同化の意向

共同化の意向についての設問です。ぜひ共同化したいという方は1.0%と極めて少ない意向となっています。しかし、条件があればいい（8.6%）という方や呼び掛けられたら考えてもいい（11.7%）という方も多いいらっしゃいます。

